おいしさ日本一をめざして。　～祁答院蒸溜所の歩み～

けどういん便り

2023年3月号
祁答院蒸溜所
鹿児島県薩摩川内市
祁答院町藺牟田2728-1

甑島

明治35年
（1902年）
かめ壺仕込み

→

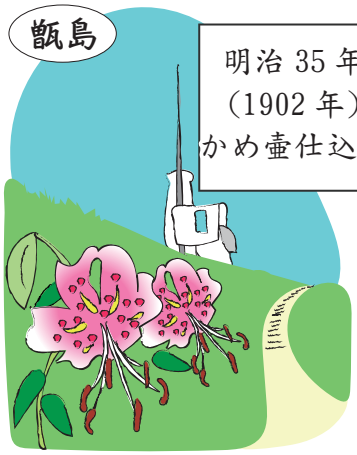
祁答院

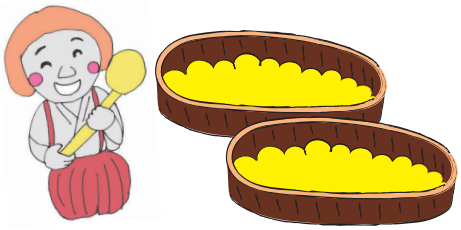
移転
平成19年
（2007年）
木桶仕込み

→

現在

令和5年
（2023年）
貴腐芋焼酎
サクラ樽熟成





2月10日に開催された、第69回鹿児島県本格焼酎鑑評会で、祁答院蒸溜所が、なんと！16年連続入賞!! を達成しました。これも、日頃、ご愛顧いただいています皆様のおかげと、深く感謝申し上げます。これからも、世界でオンリーワンのJapanese Shochuをめざして、一層励んでまいります。変わらぬご声援のほど、お願い申し上げます。

山城

城山と呼ばれる山は全国各地にありますが、多くは中世の山城に由来しているそうです。祁答院町下手の城山にはかつて大村古城、永福城とも呼ばれる大規模な山城がありました。

平安時代の末期に郡司であった大前氏が築城し、大前一族の滝聞氏が居城、その後、渋谷祁答院氏が攻め落とし、それを島津氏に奪われ、また祁答院氏に戻ったりと、廃城までに何度も戦いの舞台になっていたようです。

今では城の面影をわずかに残すだけですが、この地域にも武士がいて、鎌倉や室町幕府の影響もしっかり受けていたんだなと実感します。

山城は、旧祁答院町だけでも、なんと！もあるそうです！（油田）

蒲生町（かもうちょう）

通勤途中に、鹿児島県内で2番目に古い蒲生町（かもうちょう）があります。町で有名なのが、蒲生八幡神社の境内にある樹齢千五百年超えといわれる日本一の巨樹です。

高さは約30m、幹が太く迫力があり、パワースポットとして人気です。

巨樹だけでなく町中を散策すると江戸時代にタイムスリップしたような風情のある風景を堪能できます。また、春先には「しばさくら祭り」というイベントがあり約2万株ともいわれる芝桜を楽しめます。（東園）

豚骨のみそ煮

鹿児島の郷土料理に、「豚骨（トンコツ）の味噌煮」があります。居酒屋で食べる豚骨は、とっても柔らかく、とろけ具合が最高なのですが、家で作ると、なぜか、上手くいきません。

実は、焼酎をうまく使って調理することでプロの味に近づけるようです。

まず、豚骨を焼酎で洗うことで殺菌効果が。そして焼酎に漬けてから焼くと味の変化が。煮込む際に使えば臭みがとれ、柔らかくなります。

焼酎は飲むだけでなく、色んな使い方があります！

学生時代、調理学校で先生に習ったワザです。（迫村）

仕込み唄で　ほのぼの

製造場内で『仕込み唄』を流しながら、仕込みをしています。

これまで製造期間の場内は、毎日、慌ただしい空気に包まれていましたが、陽気な音楽の仕込み唄が流れるようになってからは、ほのぼのとした雰囲気、穏やかな気持ちで作業に取り組めます。（南之園）

春の味覚

先日、数本のタラの木を見つけました。見上げる程高いものや、腰くらいのものなど、いろいろありました。

私は、タラの芽の天ぷらが大好きです。サクサク、ホクホク、ほんのり甘味があって格別ですよね。

合わせる焼酎に思いを馳せながら、新芽のお出ましを、今かいまかと待ち侘びています。木桶焼酎〝木々の目覚め〟あたりはどうだろうか・・・（新橋）

春のリレー

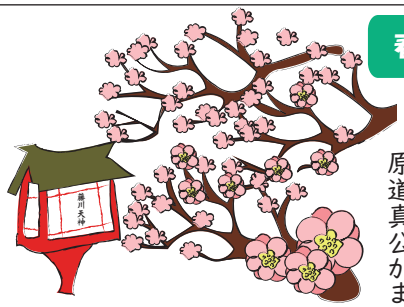
薩摩川内市東郷町（とうごうちょう）に「藤川天神の臥龍梅（がりゅうばい）」があります。

学問の神様で親しまれている菅原道真公がまつられ、境内には地を這いながら幹を延ばすその姿が竜のように見えることから「臥竜梅」と名が付けられた梅があります。

毎年3月頃に、薄いピンクの花を咲かせ、その甘い香りとともに訪れる人たちの心を和ませます。

また、近くの県道阿久根東郷線には3千本の紅梅、川沿いの900mのウォーキングコースには約140本の梅の木があります。

梅からはじまり桃、桜と続く春のリレーを、たっぷり楽しみましょう！（山之内）



親戚？

最近、売店で顔馴染みになったお客様から気軽に話しかけて頂いたり、お気遣い頂いたり。お客様と、よもやま話に盛り上がり、はたまた人生の転機があるごとにご来店された方から報告を受けたりと、まるで親戚か、昔からの知り合いのように接して頂いております。

出会いは一期一会。これからもお客様に来てよかったと思っていただけるよう、祁答院の自然や景色、このすばらしい焼酎の魅力を伝えていきたいと思います。（坊野）